

令和3年3月4日
岐阜県病虫害防除所

スクミリンゴガイの発生に注意

スクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）の発生は、1985年（昭和60年）に岐阜地域の水稲ほ場で確認されて以降、発生地域は年々拡大しており、2020年（令和2年）の調査では、岐阜及び西濃の大部分の地域、中濃及び東濃の一部地域で確認されています。

本貝は比較的浅い土中に潜入して越冬します。低温には弱く、佐賀県の研究※¹によると、12月～2月の平均気温が低いほど、越冬中の死亡率が高まることがわかっています。本年度は、強い寒波の到来があったものの、通期では平年より高く気温が推移したため（表）、本貝が越冬できる状況であると予想されます。特に昨年発生があり、秋冬期の対策が未実施のほ場では、本貝の密度が高く維持されている恐れがあります。

- 【対策】**
- 水口への侵入防止網の設置
 - （春夏期）▪ 田植え時の薬剤散布
 - 田植え後の浅水管理 など

※ 詳細は岐阜県農産園芸課 HP をご参照ください。

表 令和2年12月～令和3年2月の気温(℃)

	日平均	日最高	日最低
12月	7.2(6.9)	12.0(11.6)	3.3(2.7)
1月	4.6(4.4)	8.9(8.8)	1.1(0.5)
2月	7.3(5.1)	12.3(10.0)	3.0(0.9)

注) 観測地：岐阜市

()内は気象庁の平年値



図 スクミリンゴガイの発生地域

※1

葛蒲信一郎（佐賀県農業試験研究センター）ほか

「気温データを用いたスクミリンゴガイの水田における越冬死亡率の推定」(2001)日本応用動物昆虫学会誌第45巻第4号：203-207

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産消費安全技術センター
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm
- 当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>